

# 「今」と「昔」をつなぐ、 新しいにぎわいの形

これまちプロジェクトとは「これからの『街の使い方』を始めよう」というキャッチフレーズと共に始動した浜松まちなかにぎわい協議会とメディアプロジェクト・アンテナによるプロジェクト。街の主体者が自分たちで自分たちの街を作っていくという大きなテーマに基づいて、具体的な自治組織と協力して自分たちの手によるまちづくりを推進する事業です。



まちの温かみ  
を感じる

11月10日に開催された肴町今昔博覧会内企画「肴町みんなき亭」風景

肴町は活気のある商業エリアであると同時に、居住区域でもありました。路地に家庭の物が物置代わりに置かれていたり、子供の声が聞こえたり、籠を提げた買い物婦りの奥様が歩いていたり、人々の生活の様子が垣間見られるような地域でした。単なる商店の集まり区域ではなく、そこには日々の生活の営みがにじみ出ていました。

©kamerakamerakameral



世代を超えた  
つながり

11月10日に開催された肴町今昔博覧会内企画「路地裏であそぼ!」風景

まちの主役は若者だけでも、大人だけでも、子供だけでもなく、多様な価値観を持つ一人一人全員です。違う価値観を持った人たちが触れ合うことで生まれる、新しい化学反応がこれからの社会の持続可能性を高めていきます。誰もが共感できる価値観を基盤にした、世代を超えた私たち自身によるまちづくりが今求められています。

©kamerakamerakameral



地域資源を  
見つける

11月10日に開催された肴町今昔博覧会内企画「猫っ跳び史料館」風景

まちに眠る地域資源。普段誰も気に留めないようなただの裏路地でも、光を当てるだけで価値が生まれます。歴史を積み重ねたすべての要素に現代の価値観を加えて、歴史を知る人も、知らない人もその価値を実感できるような状況を作ることが重要なのです。

昔からあるものに現代の光を当てること。

©kamerakamerakameral

# 「今」の大阪・中崎町



# 「昔」の浜松・肴町



昭和50年代の肴町・写真提供松作商店

そこにある歴史から  
現代の価値観を考える

これまちプロジェクトは、浜松  
まちなかにぎわい協議会、メ  
ディアプロジェクト・アンテナ、  
肴町とが共同して7月から運営  
されました。その過程で、五回  
の意見交換ワークショップが行  
われ、11月の肴町今昔博覧会開  
催に向けて、意見の共有が図ら  
れました。

この写真は、第一回の意見交換  
ワークショップ（次ページ下部  
参照）で調査した肴町の昭和50  
年代の風景です。ヒアリングを  
進める中で、昔の肴町に感じら  
れる人のつながりや路地裏の風  
景が豊かな価値観によって作ら  
れていたことがわかりました。  
昭和30年代の肴町では、満員の  
映画館が3つもあったり、お惣  
菜屋をはじめとして晩御飯を揃え  
たり、道に縁台を出して井戸端  
会議が始まったり、町に人の生  
活とふれあいがあったと言いま  
す。参加した若いスタッフもこ  
のような価値観を知り、イベン  
トの提案へとつなげていきまし  
た。

現代にある豊かさを  
確かめる

第二回意見交換ワークショップ  
で発表された大阪・中崎町の現  
在の風景です。若いスタッフの  
価値観はこの風景を「豊か」だ  
と判断しました。

中崎町は、梅田駅から徒歩十分  
に位置し、戦災を免れ古くから  
地域のコミュニティが残ってい  
た界限です。そこへ若い力が加  
わり、今は生活とカフェや雑貨  
屋などの小さな商業が混在する  
エリアとなっています。今昔博  
覧会が開催された背割道路に似  
た路地空間が、老若男女にぎ  
わっている。そうした街の多样  
性にこれからの街を考えるヒン  
トが眠っているのです。

「今」だけでも、  
「昔」だけでもない、  
私たちの価値観へ

先の第一回の結果である昔の肴  
町の豊かさとの中崎町の豊か  
さをミックスさせた価値観で、  
肴町今昔博覧会が企画されてい  
きました。

# 肴町今昔博覧会レポート

平成 24 年 11 月 8 ~ 10 日 / 於 : 中区肴町背割道路周辺

## 肴町みんなき亭

背割り道路沿いの駐車場に食卓を並べ、来場者に朝食と晩ご飯を提供しました。朝食は肴町で購入できる素材を利用し、夕食は肴町の飲食店に協力していただき献立を作成しました。



©kamerakamerakamera

## 路上劇場セワリ座

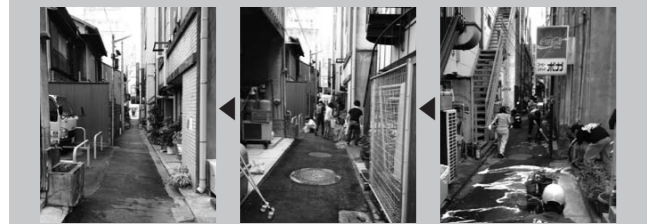
昭和 30 年代の名作映画、はままつ動画チャンネルのなつかし動画、静岡文化芸術大学学生の映像作品など新旧の動画を屋外で上映し、同じ空間を来場者と共有しました。



©kamerakamerakamera

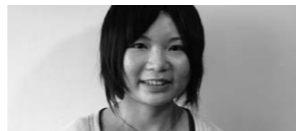
## ワークショップ番外編/清掃活動

イベント開催に向けて、10月の毎週日曜日は背割道路の清掃活動を実施しました。



**折田 千秋** おりた ちあき  
1993 年 青森県十和田市生まれ  
静岡文化芸術大学空間造形学科 1 年

貴重なものを得た 4 ヶ月でした。このプロジェクトに参加していなかったらまちづくりに携わっている人々やその方たちの努力を知らぬまま終生過ごしていたかもしれないと考え、おそろしいです。さまざまな人々と交流できたことは今後の人生において貴重な体験だったと思います。



**伊藤 彩良** いとう さら  
1993 年 岐阜県大垣市生まれ  
静岡文化芸術大学空間造形学科 1 年

色々な方と出会うことでそれぞれの想いや価値観があり勉強になりました。やりがいを感じるということはこういう事だと改めておもったこと、何と云っても楽しめたことが 1 番大きな財産です。温かい思い出をありがとうございます。



**青沼 克哉** あおぬま かつや  
1989 年 静岡県浜松市生まれ  
早稲田大学大学院修士 1 年

私は主に会場構成の面に関わってきましたが、いちばん印象に残ったのは、2つの背割道路が、物置や吹き溜まりのような空間ではなく、コミュニケーションを生む公共空間として機能していたことでした。これからはまた何らかの形で肴町に関わっていただきたいと思います。



**土屋 龍太郎** つちや りゆうたろう  
1985 年 静岡県浜松市生まれ  
浜松ホトニクス勤務

ワークショップやイベントを体験することで過去と現代の良い印象や価値観は、昔も今も良いコミュニケーションを通じて生まれていると感じました。今回のイベントで生まれたコミュニティから継続的な良い関係性が生まれることを願っています。



**塚本 麻友** つかもと まゆ  
1991 年 愛知県刈谷市生まれ  
静岡大学情報学部情報社会学科 3 年

今回のイベントを通じて、RE05 のスタッフや浜松まちなかにぎわい協議会の方、肴町の方々やイベントに来てくださったお客様など、様々な人々と関わることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。



**山下 泰弘** やました やすひろ  
1985 年 静岡県浜松市生まれ 派遣会社勤務

肴町の方たちの感謝の言葉と笑顔を見ることが出来た心からのうれしさと感動を感じました。肴町の方たちと共にアイデアを出し合い、今まで見失っていたことに新しい価値を見つけ出すことが出来たと思いますし、これからの街でこんなことが起こっていくのが本当に楽しみです。この縁に心から感謝です。



**伏見 綾乃** ふしみ あやの  
1990 年 静岡県静岡市生まれ  
静岡大学情報学部情報社会学科 4 年

肴町の地域の方、社会人、学生など別々のコミュニティに属する人が同じ方向を向いてイベントを行う試みが面白く、実りのあるものだったと思います。感謝と反省の念がいっぱいです。これからもこのような試みが、別の形であれ続いくことに協力したいと思いました。



**栗田 佳樹** くりた よしき  
1991 年 静岡県川根町生まれ  
静岡大学情報学部情報社会学科 3 年

直前の計画変更などアドリブ感満載の 3 日間でしたが、無事に終了して一安心です。企画の内容を詰めていく行程で、様々な職業、年齢、属性の方々との出会い、多くの刺激を受けました。かけがえのない出会いの全てに感謝です。



**金田 梨沙** かねたりさ  
1987 年 京都府京都市生まれ  
パッケージ制作会社勤務

肴町を通して私たちが知らない街の歴史や個人の歴史等、普段関わることのない人達から多くのことを学びました。3 日間のイベントだけでなく、準備期間も含め、スタッフとして活動できてとても充実してました。ありがとうございました。



**坂野 貴洋** ばんの たかひろ  
1992 年 愛知県名古屋生まれ  
静岡文化芸術大学空間造形学科 2 年

学校の中でしか学習したことなかった学生の私にとって、今回のプロジェクトは、初めての体験ばかりでした。特に、世代が違う人々と友達になれたことがとても新鮮で、自分の成長にもつながったと思います。出合いに感謝するとともに、そのつながりを大切にしていきたいです。



**名倉 早紀** なぐら さき  
1991 年 静岡県浜松市生まれ  
静岡大学情報学部情報社会学科 4 年

このプロジェクトを通して、普段関わりのない人たちと一緒にものを作り上げていくことで、自分の価値観が広がったような気がします。また、まちづくりに決まった形、限界などはないということに強く感じました。貴重な経験をする事ができました。

## 路地裏であそぼ!

竹馬や、路上の遊び、剣玉やあやとり、三将棋、缶蹴りなど昔々の遊びを子供たちに教えたり、教わったりしながら、多世代のコミュニケーションを図りました。



©kamerakamerakamera

## 猫っ飛び史料館

浜松や肴町にまつまる、大小さまざまな歴史を背割り道路沿いに展示です。浜松市博物館の協力のもと展示される浜松市全体に関わる歴史パネル、今年ついに解体された松菱百貨店関連の写真、この博覧会の元になった RE05 肴町プロジェクトのワークショップで得られた肴町各店舗の小さな歴史など、いろいろな視点から浜松や市民の生活の歴史を紐解き、路地裏の価値を発信しました。



©kamerakamerakamera

## 意見交換ワークショップの様子

これまちプロジェクトでは、11月の背割道路周辺を利用したイベントに向けて、4ヶ月間、調査、提案、準備、実施というフェーズで運営され、その都度、住民の方に成果報告と意見交換を兼ねたワークショップを合計5回、開催しました。地域の小さな歴史の調査や大阪・中崎町への研修、イベントの企画提案など、毎回多様な議論が若いスタッフと地域の方々との間で交わされました。